

13. 総会ワークショップテーマ一覧

平成16年度（第51次）～平成24年度（第59次）

平成16年度（第51次）

1. 職員採用から人材育成まで（議長：京都大学附属図書館長 佐々木 丞平）
 - (1) 図書系職員採用試験の在り方
 - ① 関東甲信越地区国立大学法人等職員採用合同図書系二次専門試験について
一橋大学事務部長 塚田 吉彦
 - ② 六地区合同図書系二次専門試験について
京都大学事務部長 大埜 浩一
 - ③ 国立大学法人図書系職員採用の全国的枠組みについて
北海道大学事務部長 佐藤 正勝
 - (2) 職員研修の在り方
 - ① 問題提起
京都大学事務部長 大埜 浩一
 - (3) 文献画像伝送システムの利活用と多言語データベースの品質管理
 - ① 問題提起
九州大学情報サービス課長 片山 淳
 - ② 文献画像伝送システムの利活用、九州地区の事例を紹介
鹿児島大学情報サービス課長 吉田 英明
 - ③ NACSIS-CAT/ILL：その現状と課題
国立情報学研究所コンテンツ課課長補佐 茂出木理子
2. 電子ジャーナルの円滑な導入と安定的な運営体制について
 - (1) 電子ジャーナル・タスクフォースの役割と課題（司会進行：筑波大学附属図書館副館長 西原 清一）
 - ① 報告
国立女性教育会館情報課長 藏野由美子
 - ② 補足説明
名古屋大学附属図書館長 伊藤 義人
 - (2) 学内における電子ジャーナル購読経費確保方策（司会進行：東北大学附属図書館長 大西 仁）
 - ① 報告
名古屋大学附属図書館事務部長 山下 洋一
 - (3) SPARC/JAPAN 事業の説明
国立情報学研究所国際・研究協力部長（教授） 根岸 正光
国立情報学研究所学術コミュニケーション係長 細川 聖二
 - (4) 学会における電子出版事例
 - ① UniBio Press
日本動物学会事務局長 永井 裕子
 - ② 物理系学術誌刊行協会
同刊行協会事務局長補佐／企画開発ディレクタ 谷藤 幹子
3. 法人化後の附属図書館の役割について
－新たな目的を実施するための組織運営及び地域社会貢献のための連携・協力－
 - (1) 附属図書館の役割と学内の位置付け（司会進行：信州大学附属図書館長 村瀬 澄夫）
 - (2) 附属図書館の予算（司会進行：信州大学附属図書館長 村瀬 澄夫）
 - (3) 附属図書館の地域・社会貢献（司会進行：三重大学附属図書館長 亀岡 孝治）

平成17年度（第52次）

1. 今後の図書館経営について

（司会：広島大学図書館長 位藤 邦生、山口大学図書館長 福政 修）

2. 電子ジャーナルなどのデジタルコンテンツに関する諸課題について

（司会：筑波大学附属図書館長 植松 貞夫、千葉大学附属図書館長 土屋 俊）

コーディネーター：名古屋大学附属図書館長 伊藤 義人

山形大学附属図書館情報管理課長 加藤 信哉

筑波大学附属図書館情報サービス課長 富田 健市

3. NACSIS-CAT/ILL の課題解決に向けて

（司会：東京大学附属図書館事務部長 笹川 郁夫）

(1) 発表1 東京大学附属図書館事務部長 笹川 郁夫

(2) 発表2 国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課課長補佐 茂出木理子

平成18年度（第53次）

1. 機関リポジトリなどのデジタル・リソースに関する諸課題への取組について

(1) 「機関リポジトリ」：学内等における位置付けについて

①千葉大学学術成果リポジトリの学内における位置付けの確立と課題

千葉大学附属図書館情報部学術情報課長 西山 常清

②「NAGOYA Repository 名古屋大学における取組み」

名古屋大学附属図書館長 伊藤 義人

(2) 「機関リポジトリ」：著作権処理について

①国内学会等における著作権の取扱いについて

筑波大学附属図書館情報管理課長 富田 健市

(3) デジタル・リソース：安定的かつ体系的な収集・提供に向けて

①九州大学附属図書館におけるデジタル・リソースの収集・提供について

九州大学附属図書館図書館企画課長 末次美知夫

2. 大学図書館経営の諸課題と大学図書館職員の育成・確保について

（司会：京都大学附属図書館長 大西 有三）

（進行：京都大学附属図書館事務部長 大埜 浩一、大阪大学附属図書館事務部長 平元健史）

(1) 大学図書館経営の諸課題について

①法人化のなかの国立大学図書館経営 九州大学附属図書館事務部長 濱崎 修一

②情報系組織との統合と図書館経営のあり方 鳥取大学学術情報部長 小花 洋一

③大学の経営方針による図書館機能・組織への影響 愛媛大学図書館事務課長 内山昭一郎

(2) 大学図書館職員の育成・確保について

①大学図書館が求める人材像について—大学図書館職員のコンピテンシー—

名古屋大学附属図書館事務部長 早瀬 均

②（東京大学における図書館職員キャリアパス計画概要）図書館職員の専門性とキャリアパス

東京大学附属図書館事務部長 笹川 郁夫

③人材交流キャリアアップ・ポリシー：

中国・四国地区国立大学図書館の人材育成・活性化対策について

広島大学図書館学術情報企画課長 片山 俊治

平成19年度（第54次）

1. 図書館組織、人事制度のあり方、人材育成の方策等について

（司会：東北大学附属図書館長 野家 啓一）

（進行：東北大学附属図書館事務部長 北村 明久）

(1) 国立大学法人化後の館長及び管理職のリーダーシップについて

- ①法人化後の館長のリーダーシップについて 長崎大学教育学部教授 位藤 邦生
 ②法人化後の管理職の役割について 京都大学附属図書館事務部長 長坂みどり
 ③統合組織の管理職の役割について 山口大学情報環境部長 大場 高志
- (2) 図書館職員の人材育成について
 ①大学図書館が求める人材像についてー大学図書館職員のコンピテンシー 大阪大学附属図書館利用支援課長 片山 俊治
 ②東京大学職員キャリアガイドについて 東京大学教養学部等図書課長 市村 櫻子
 ③山形大学における事務組織のフラット化と職員のキャリアパスについて 山形大学学術情報部長 友光 健二
2. 今後の図書館システムと利用者サービスの方向性について
 (司会：筑波大学附属図書館長 植松 貞夫)
 (司会補助：筑波大学附属図書館副館長 田中 成直)
- (1) 今後の図書館システムの方向性について：図書館システム検討WG報告から 筑波大学附属図書館情報サービス課長 高橋 努
- (2) 九州大学におけるEリソースサービスの推進：
 コンテンツ整備・きゅうとLinQ・SNS・組織再編 九州大学附属図書館コンテンツ整備課電子情報係長 渡邊由紀子
- (3) NACSIS-CAT/ILLのこれから 国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 相原 雪乃
- (4) 会員館アンケート結果から見えるもの 筑波大学附属図書館情報管理課長 富田 健市
3. 機関リポジトリの運営・推進について
 (司会：東京学芸大学附属図書館長 細江 文利)
 (司会補助：東京学芸大学附属図書館学術情報部長 青木利根男)
- (1) 機関リポジトリの現状 国立情報学研究所学術基盤推進部コンテンツ課長 尾城 孝一
- (2) 事例報告1 奈良教育大学学術情報研究センター長 長友 恒人
- (3) 事例報告2 信州大学附属図書館長 野村 彰夫
- (4) 事例報告3 お茶の水女子大学附属図書館長 羽入佐和子
 お茶の水女子大学附属図書館図書・情報チームリーダー 茂出木理子

平成20年度（第55次）

1. 学習・教育支援を強化するために大学図書館は何をすべきか
 (司会：北海道大学附属図書館長 逸見 勝亮)
- (1) 大学図書館における「場」としての機能再生：多様化と活性化 大阪大学附属図書館図書館企画課長 片山 俊治
- (2) 学生生活のサイクルと共存する大学図書館施設：
 金沢大学自然科学系図書館の場合 金沢大学情報部情報企画課長 内島 秀樹
- (3) フュージョンセンター機能の図書館をめざしてー図書館増築、改修の事例 北見工業大学図書館情報図書課長 山田 勉
- (4) 図書館マネジメントから見たラーニング・コモンズ
 ーラーニング・コモンズでお茶大図書館は何が変わったのか！？
 お茶の水女子大学附属図書館図書・情報チームリーダー 茂出木理子
- (5) 横浜国立大学中央図書館 横浜国立大学附属図書館図書館情報課長 熊渕 智行
- (6) 学習・教育支援を強化するために大学図書館は何をすべきかー建物耐震改修工事からの報告 名古屋工業大学附属図書館長 多田 豊
- (7) 長崎大学の事例ー学習・教育の場としての図書館 長崎大学附属図書館学術情報サービス課長 郷原 正好

2. 電子ジャーナルの持続的利用を目指した学術情報流通改革について

(司会：名古屋大学附属図書館長 伊藤 義人)

- (1) 電子ジャーナルを巡る状況と各大学の対応
- (2) 国立大学図書館協会としての今後の対応

平成21年度（第56次）

1. 学術情報流通改革における電子ジャーナル及び学術機関リポジトリの整備

(1) 電子ジャーナルの安定的供給を目指して

(司会：筑波大学附属図書館長 植松 貞夫)

①電子ジャーナルの新たな購読モデルを探る

東京大学附属図書館情報管理課長 尾城 孝一

②海外の事例紹介：電子ジャーナルの価格モデルを巡って

東北大学附属図書館総務課長 加藤 信哉

(2) 持続可能な機関リポジトリ構築のために

(司会：北海道大学附属図書館長 逸見 勝亮)

①機関リポジトリの現状と課題

金沢大学情報部情報企画課長 内島 秀樹

②学協会著作権ポリシーデータベース（SCPJ）構築の課題

筑波大学附属図書館情報管理課長 関川 雅彦

2. 学習・教育活動と連携した図書館サービスについて

(司会：九州大学附属図書館長 丸野 俊一)

(1) 教員との連携による図書館サービス

“授業資料ナビゲータ(PathFinder)”と“ポッドキャスト@千葉大学図書館”を通して

千葉大学附属図書館情報サービス課専門職員 丸茂 里江

(2) 大学教育活動と連携するための展望と戦略

国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長 米澤 誠

(3) 大学における学習・教育活動と図書館の連携の可能性を探る 文系教員の立場から

長崎大学附属図書館長 柴多 一雄

(4) 国立大学図書館の大学教育支援ニーズとシーズ

九州大学附属図書館副館長 吉田 素文

平成22年度（第57次）

1. 今後の大学図書館の業務運営の在り方について

(司会：東北大学附属図書館長 野家 啓一)

(司会補助：東北大学附属図書館事務部長 片山 俊治)

(1) 大学図書館の業務運営を取り巻く環境変化：公共サービス改革（市場化テスト）

①国立大学法人の図書館運営業務等への評価の総括（国立大学法人分科会）について

東京大学附属図書館総務課長 木村 優

②国立大学法人分科会のヒアリングについて

一橋大学附属図書館学術・図書部長 大場 高志

③アジア経済研究所図書館官民競争入札始末記

日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館長 井村 進

(2) 今後の大学図書館の業務運営の在り方：業務委託と経営効率化

①大分大学学術情報拠点（図書館・医学図書館）の業務委託

大分大学学術情報拠点学術情報課長 能勢 明雄

②図書館業務のアウトソーシング事例

愛知教育大学附属図書館情報図書課長 三宅 育夫

2. 大学図書館の新たなサービス展開と図書館組織・人材育成について

(司会：京都大学附属図書館長 藤井 譲治)

(司会補助：京都大学附属図書館事務部長 川瀬 正幸)

(1) 大学図書館の新たなサービス展開

①ラーニングコモンズを活用した新たな図書館サービス

大阪大学附属図書館事務部長 細戸 康治

②カフェのある図書館空間－本を媒体とした出会いと対話を演出する－

金沢大学附属図書館情報サービス課長 岡部 幸祐

③教育・学習支援空間－教員・学内組織との協働の試み－

名古屋大学附属図書館情報 川添 真澄

(2) 大学図書館の組織と人材育成

①新たな図書館サービスが生み出すもの－協働と人材育成－

お茶の水女子大学附属図書館図書・情報チームリーダー 江川 和子

②図書館組織及び人事政策に関するアンケート調査から

広島大学図書館副図書館長 石井 道悦

平成23年度（第58次）

1. 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）と今後の電子リソースの整備の在り方について

(司会：筑波大学附属図書館長 波多野澄雄)

(司会補助：筑波大学附属図書館副館長 関川 雅彦)

(1) JUSTICE の現況と今後の課題

国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長 尾城 孝一

(2) 学術論文へのオープンアクセス

小樽商科大学附属図書館学術情報課長 杉田 茂樹

(3) 電子ジャーナルの保存

筑波大学附属図書館情報サービス課長 熊渕 智行

(4) 外国雑誌センター館の活動と課題

一橋大学附属図書館長 江夏 由樹

2. 災害時における図書館の危機管理

(司会：名古屋大学附属図書館長 松浦 好治)

(司会補助：名古屋大学附属図書館事務部長 加藤 信哉)

(1) 被災大学からの報告

①そのとき私たちができたこと－大学図書館が遭遇した東日本大震災－

東北大学附属図書館情報サービス課長 小陳左和子

②国立大学法人岩手大学における東日本大震災の状況について

岩手大学情報メディアセンター図書館長 西崎 滋

③複合災害の現場－原発立地県にある大学図書館の危機管理－

福島大学学術情報課長 高橋 喜一

(2) 支援状況の報告

①国立大学図書館協会における東日本大震災への対応

東京大学附属図書館総務課主査 久保田壮活

平成24年度（第59次）

1. 大学図書館の教育・学習支援機能の強化について

(司会：広島大学図書館長 富永 一登)

(司会補助：広島大学図書館副図書館長 甲斐 重武)

- (1) 教育担当理事として期待する大学図書館の教育支援
大阪大学理事・副学長（教育担当）、附属図書館長 東島 清
- (2) クラス・ライブラリアン（学年担任司書制） 小樽商科大学学術情報課長 杉田 茂樹
- (3) 情報リテラシー教育を担当する特任助教の配置
～本の倉庫からの脱却と『クロスカル図書館』を目指して～
和歌山大学附属図書館長 渡部 幹雄
- (4) 学習支援のための地域的な協力事業 徳島大学情報部学術情報サービス課長 舟本 幸福
2. 電子リソースの整備における大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の役割と
今後の在り方を考える
(司会：東北大学附属図書館長 植木 俊哉)
(司会補助：東北大学附属図書館事務部長 井上 修)
- (1) JUSTICE の活動と今後の運営体制 ー要項と会費の背景にあるものー
JUSTICE 運営委員会委員長・筑波大学附属図書館副館長 関川 雅彦
- (2) コンソーシアム活動の意義 ー出版社協議に参加してー
JUSTICE 協力員・東京大学附属図書館情報管理課資料契約係長 金藤 伴成
- (3) JUSTICE への期待 ー我が国における電子リソース整備のためにー
金沢大学附属図書館長 柴田 正良